

情報連絡員だより

—令和元年 11 月の報告より—

暖かい日が続いたことが

多くの業種に影響を与える

業種 / 景況天気図		概況
全	体	天候が安定し、平年より暖かい日が続いたことが多くの業種に影響を与える。暖冬となる兆しがあり、パン・コンクリートブロック・農産物卸・温泉旅館で好影響となったものの、燃料小売・商店街・運輸業では悪影響が生じている。また、消費税増税により業況が悪化している業種も見受けられる。
製 業	食 料 品	パンは、天候に恵まれ安定した売上となったが、消費増税の影響で消費に勢いは感じられない。菓子は、一部地域で売上良好となるが、全体的に前年並み。製麺は、生麺・乾麺ともに荷動き鈍く、厳しい業況継続。酒造は、前年比で普通酒の売上大幅減。食肉は、前月の反動減で豚のと畜頭数減少。
	織 維 ・ 同 製 品	桐生織物は、婦人服地が小ロットで期近のものに対応、輸出向け・和装織物は低調に推移。伊勢崎織物は、広巾関連で新商品開発が順調に進んでおり、今後に期待感あり。ニットは、一部組合員に冬物の追加注文があるが、大半は春物のサンプル作成に移行。繊維製品は、大手小売店の大量閉店が業況に悪影響を与える。
	窯 業 ・ 土 石 製 品	砕石は、10月に県の設計単価見直しが行われなかった地域の収益が悪化。コンクリートブロックは、天候が安定し前年並み、今後も同様の状況が続く見通し。生コンは、一部地区を除いて概ね堅調に推移し出荷量増加。砂利は、出荷量・生産量ともに増加しているが、在庫がほとんどなく、運搬車両が不足している。
	機 械 ・ 金 属	鍍金は、受注量が減少傾向、米中貿易摩擦の影響が出てきている組合員も見受けられる。自動車関連は、国内企業への部品供給は概ね順調だが、中国・韓国向けは低調。電気関連は、台風で被災した製品の保守メンテナンス需要が増加傾向にあるが、収益に結びついていない。
	そ の 他 の 製 造 業	木材は、原木価格上昇と販売価格低下の状況が続き収益悪化。紙加工品は、国内需要と輸出量の減少による在庫のたぶつきが問題となっている。ゴム製品は、低調な状況に変わらないが、他県の同業者廃業に伴う肩代わりの的な需要があり現状維持。印刷は、年末に向けて需要増加が見込まれるが、以前ほどの期待感はない。
非 製 造 業	卸 売 業	卸団地は、依然として人手不足感が強く人材確保が課題、消費増税の影響はみられないが、全体的な業況は足踏み状態が続いている。農産物卸は、気温が高かったため野菜が順調に生育し、前年並みに推移。水産物卸は、消費税増税により消費者心理が後ろ向きとなり売上減少。
	小 売 業	燃料小売は、販売価格低下のほか、暖かい日が続き灯油販売が低調となり売上減少。生花小売は、消費税増税と台風被害の影響で売上減少。家電小売は、白物家電で駆け込み需要の反動減がみられる。商店街は、暖冬傾向により冬物商品の動き悪化、年末商戦に向け準備開始。中古車オークションは、前年並みの売上維持。
	サ ー ビ ス 業	温泉旅館は、暖かい日が続き紅葉が長期間見られたことで、宿泊客数がやや増加。館林地域における不動産取引は、前年比で業況に大きな変化はみられないが、市街地で空き家が目に付く状況。建築設計・自動車整備は、売上・収益ともに前年並みに推移。
	建 設 業	建設工事は、台風被害からの復旧工事に向け準備を進める。解体工事は、住宅・店舗などの解体数が前年並みに推移。電気工事は、売上は前年同様の推移となるが、年明け以降の受注量減少を懸念している。塗装工事は、前年並みの仕事量を確保。鉄構は、見積件数が少なく、来春からの仕事量を懸念している。
	運 輸 業	暖冬傾向による灯油の需要減少や海外向け輸送の落ち込み、また、消費税増税の影響もあり荷動きは低調に推移。ただ、繁閑の差が大きく、月末などの特定日には車両の手配に苦慮している。野菜関係は、概ね前年並みに推移。小口配送は、自動車部品や医薬品PETの配送が順調だが、全体的には前年比で売上減少。